

日時：2019年12月13日（金）14：00～15：30

場所：2階 会議室

参加者： (敬称略)

地域住民代表（自治会長）	木内直幸 ・ 宮代武雄 ・ 若月秀彦
ボランティア会代表	橘川芳夫（ボランティア会会長）
家族会代表	阿比留成志 ・ 川村宏
施設代表	鷺巣晃弘（特別養護課 課長）
所長（司会・記録）・副所長	浦野直子 ・ 手塚賢二

1. 活動状況の報告

(1) 運営状況から

① 2019年7月～9月の利用状況

養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、短期入所、デイサービス、コミュニティケアおおや
→ 上記事業の充足率、空床数、各サービスの要介護度等 資料に基づいて説明をする。

【会議員から質問・意見】

Q：デイサービスの利用率があがった要因は何か

A：えびな南のデイサービスを利用された方々の声を“機関紙”に掲載して発行している。
内容は、ゲームなどを通じて元気になったというようなもの。サービス内容を意図的に構築しているので、広めていきたいと思っている。（CM～利用者増につながる）
満足された人が、利用回数を増やして下さったということもある。

② ボランティアさんの協力状況について（7～9月） 資料参照

③ 南カフェについて（自治会共催） → 開催状況を説明

④ 事故、苦情について（7～9月） → 具体内容を報告。

【会議員から質問・意見】

利用した老人ホームで体験したこと（参考になればとご意見をいただく）

・えびな南では、車椅子を自分で操作できるようにと、ブレーキレバーを長くしたり、自走式の車椅子を用意してくれた。他施設を利用した際、自操できるようにしてほしいと依頼したが、「わざと自操できないタイプの車椅子にしている」「動かれたら困るから」と言われた。目の届かないところに行かれると困るとのこと。その施設は若い職員が多いからか自由が利かない施設もあることを知った。ここでの生活は良かったと思った。

【特別養護課・鷺巣から】

介護に対する価値観だと思う。職員の数も限られるが、生活とは何かということをし、しっかりとらえて、いかにあるべき生活に近づけるか考えることが大事だと思う。
えびな南では、飲酒や喫煙も当たり前の生活だと捉えているが、他施設からは珍しがられることもある。

(2) 感染症の発生状況

①インフルエンザ対策

- ・ 予防接種について（希望者）
- ・ 蔓延しないための生活環境（加湿を重視していることについて）

②ノロウイルスの対応について

- ・ 特徴について

→ 感染症対策として、職員は定期的に研修会を設けて、対応にばらつきがでないように訓練をしていることを説明した。

(3) 防災関係について（9月24日 訓練実施）

- ・ 消火栓ホースの可動範囲を確認し、表示をすることにした。
- ・ 備蓄倉庫内の点検を行った（消費期限の管理方法について説明）

(4) 公益的取り組みについて

- ① ライフサポート事例について
- ② 就労支援事業 …現在9名の方々が当施設で実習をしている。

(5) 職員代表から 取り組み状況の報告

→ 特別養護課 鷺巣より

- ・ 職員の仕事を標準化するために“手順書”があることを説明する。
- ・ 今まで、この手順を指導監督職層だけが作成してきたが、今年度はチームで見直しをしている。

2. 地域住民代表から（自治会）

→ みなみカフェ～協力に関して継続していきたい。

杉久保敬老のつどい～次年度に向けて協力を依頼したい。

サンパルクでのサロンでは、包括担当の職員がサポートしてくれ盛大だった。

3. ボランティア代表（ボランティア会）

→ 詩吟を担当しているが、声が出なかった人が発声によって元気になってくることがあり、遣り甲斐を感じている。ボランティア活動報告では、多くの人たちが協力をしているのだということを確認させてもらった。利用者の方々が元気になってくれるのは嬉しい。

4. 家族会代表

→ 10月は地域に向けてのバザー、12月は施設内でのミニバザーに協力をした。

利用者の方々、職員と楽しく活動ができたと思っている。

1月は新年会で協力をしたい。

5. 施設見学 (4階 養護老人ホームを見学)

事前説明～ “養護老人ホームってなあに？”(神奈川県高齢者施設協議会養護部会発行)
リーフレットをもとに、特別養護老人ホームとの違い、養護老人ホームの
内容を説明。

見学～ 工藤課長案内

浴室、洗濯室など特別養護老人ホームとの違いを見ていただき説明をする。

6. 次回開催予定

3月13日(金) 14:00～

